

救心感應丸氣

感應丸は、今日まで多くの人々に用いられ、親しまれてきた、長い歴史をもった伝統薬です。

感應丸は、急病の気つけやどつき、息切れ、また、胃腸の弱い方の消化不良や下痢などに、旅行のときの携帯薬や家庭常備薬として用いられてきました。

救心感應丸氣は、精選した麝香、牛黄等の七種の動植物生薬と、熊胆の主要成分であるウルソデオキシコール酸を配合した製剤で、これらの症状にすぐれた効きめを現わします。

救心感應丸氣は、お子さまやお年寄りにも服用しやすい、小さな丸薬です。

⚠使用上の注意

× 守らないといけないこと

【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる】
本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと

他の強心薬



相談すること

一、次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること

(一) 医師の治療を受けている人。

(二) 妊婦または妊娠していると思われる人。

二、次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師または薬剤師に相談すること

(一) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

(二) 五〜六日間(胃腸虚弱、消化不良については一カ月間)服用しても症状がよくなるらない場合

【効 能】

○ 気 つけ

急激な運動その他によるショック、日射病、熱射病、脳貧血のような突発的におこる症状に救心感應丸氣は効果的に作用します。

○ 息 切れ
○ どう き

息切れやどつきは、貧血や肥満、疲労等でおこることもあります。が、わずかな運動でも感じたり、運動後も長く続くのは、心臓の働きが悪くなっていることが考えられます。

○ 胃腸虚弱
○ 消化不良
○ 下 痢

人参、沈香、動物胆、ウルソデオキシコール酸等が消化を助け、弱った胃腸の働きを回復させます。また、腸内の異常な腐敗、酸酵を抑え、下痢に効果を現わします。

【用法・用量】

食前または食間に水またはお湯で服用する。

年 齢	一 回 量	服用回数
大人(十五才以上)	三粒	一日三回
十一〜十四才	二粒	
八〜十才	一粒	
八才未満	服用しないこと	

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

【成 分】

九粒中、次の成分を含みます。

麝香五[㊦]、(日局)牛黄一〇[㊦]、(日局)人参七五[㊦]、羚羊角末一〇[㊦]、
沈香一〇[㊦]、龍腦一〇[㊦]、動物胆三〇[㊦]、(日局)ウルソデオキシコール
酸一〇[㊦]

添加物としてパラベン、トウモロコシデンプン、寒梅粉、アラビアゴム、
カルメロース、薬用炭を含有します。

〈主要成分の作用と特長〉

麝香 麝香鹿の腺分泌物で、呼吸機能を高め、強心効果を現わし
ます。

牛 黄 牛の胆のう中にごくまれに発見される褐色の小球塊で、心臓
の拍動を強めます。

人 参 薬用人参の根を乾燥したもので、強心、強壮、健胃、消化、整
腸作用等を現わします。

沈 香 ジンチョウゲ科の常緑高木の木部に樹脂が沈着した部分を
採取したもので、芳香があり、健胃、整腸や鎮静作用を現わ
します。

【保管および取扱い上の注意】

- (一)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (二)小児の手の届かない所に保管すること。
- (三)他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が
変わる。)
- (四)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または左記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

〈電 話〉〇三―五三八五―三二二―(代表)

〈受付時間〉午前八時三〇分から午後五時まで(土、日、祝祭日を除く)

東京都杉並区和田二丁目二十一番七号
救心製薬株式会社